



いざ、大舞台へ。

《整肢会経営理念》

“人間愛” 私たちの喜びです。

《整肢会経営方針》

整肢会は、患者様の命と人権を尊重し、プライバシーを遵守して、安心と思いやりのある医療を実践します。

整肢会は、患者さまの安全を確保し、十分な情報提供により、理解と納得に基づいた高度で妥協なき整形外科専門の医療を実践します。

整肢会は、総力をあげ医療・福祉機関との連携を深め、地域に望まれる、より良い医療の提供を実践します。

特定医療法人 整肢会

副島整形外科病院

副島整形外科クリニック

地域連携室便り

11月6日(木)に行った「元気ハツラツ教室」の報告です。

「第3回 元気ハツラツ教室」

〔内容〕

座位のポジショニング、移乗・移動・歩行について
講師／副島整形外科

診療技術部部长 石永善和

理学療法士 宮宗佑真

健康運動実践指導者 香田吉彦

- ① 移乗介助に関する講義
- ② 実践(移乗・移動・座位のポジショニング)
- ③ 入所者・利用者への対応(入所中の利用者さまでの介助法などの実践について行いました)

12名の施設スタッフが参加され、現場で実際困っていることや利用者への介助法について多くの質問や意見が出ましたが、スタッフの皆様の熱意が伝わって白熱した研修会となりました。今後も機会があれば研修会を開催していきたいとお伝えし閉会しました。

今後も様々な施設で研修会のご要望があればお受けしていきたいと考えておりますので、地域連携室まで連絡して頂ければ幸いです。



副島整形外科 野球部便り

9月13日より(3日間)行われた第52回佐賀県アマチュア野球大会の県大会に武雄市代表として10年ぶり4回目の出場を果たしました。開会式では各チーム毎に高校野球を思わせるような入場行進で球場入りし、当チームは見事「行進賞」を受賞することが出来ました。試合の方は強豪の友朋会(嬉野市)と対戦し、打線が本来の調子を掴めないうま0-2で敗れました。この敗戦を糧に来年も県大会目指して、技術向上を図りたいと思います。



武雄温泉秋祭り 市民綱引き大会 企業の部 優勝

期 日/10月22日(水)
場 所/武雄町中町商店街
武雄市民綱引き大会が武雄町中町商店街綱引き競技場で開催されました。今年も皆で力を合わせてトレーニングに励み、チーム力を存分に発揮しました。また、宮野町区としても綱引きチームに当院から参加し、地域のみさんと力を合わせ楽しい時間を過ごすことが出来ました。



特定医療法人 整肢会



〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7641番地1 TEL.0954-20-0388 FAX.0954-20-0377
〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7724番地1 TEL.0954-22-2155 FAX.0954-23-4275

<http://soejimaseikei.or.jp>

【編集】
【後記】

朝晩も冷え込んで冬の季節がやってきました。2014年もあと少しで2015年へとバトンタッチします。今年は日本肩関節学会に、スタッフ一丸となって心血をそそいだ年でした。たくさんの方の参加者のみなさま、またボランティアとして多くの方々の協力のもと盛大に学会を開催することが出来ました。2015年は、2014年までの様々な経験を糧とし、よりよい地域医療に貢献していきたいと思っております。

第41回 日本肩関節学会

第11回 肩の運動機能研究会

会長講演として副島整形外科病院院長 森澤佳三が「PL. Secondary Complications of Massive Rotator Cuff Tears」を、また医療法人整肢会理事長 副島義久がイブニング・セミナー「鎖骨遠位端骨折に対するCWプレートの治療」を行いました。当院からの学会発表は、7演題行いました。日々の忙しい業務の中で時間をみつけてデータをまとめあげ、発表したことはこれからの研究発表のための貴重な経験となり、大きな自信につながっていくと思います。当院のたくさんのスタッフも学会運営の一翼を担い、とまどったり失敗したりと、たくさんの経験を積みながら、本学会に貢献できたものと思っています。

「第41回日本肩関節学会 学会会長 森澤佳三」「第11回肩の運動機能研究会 会長 西川英夫」が、10月24日(金)、25日(土)の二日間にわたり佐賀市の佐賀市文化会館・佐賀県総合体育館で開催されました。本学会では総数1416名の医師をはじめ、肩関節診療に携わる看護・リハビリテーション各分野のスペシャリストの方々が集われました。海外からも28名の肩専門の先生も参加され、現在～未来、日本～世界へむけて肩関節疾患について熱い討議がかわされました。

演題発表

第41回 日本肩関節学会

〔一般口演〕

「糖尿病は腱板断裂の危険因子であるか？」
医師 梅村 愛

第11回 肩の運動機能研究会

〔一般口演〕

「鏡視下腱板修復術（ARCR）術後疼痛の検証―第2報―」
看護師 松尾 竜一

「ARCR後早期他動屈曲可動域と術後5か月以上経過時の機能との関係」
理学療法士 江藤 正博

〔ポスター〕

「肩腱板断裂術後患者に対する早期シャワー浴の効果」
看護師 浦川 琴美

「鏡視下腱板修復術後の危険肢位への清潔ケアの認識の統一を試みて」
看護師 牛島 慎

「鏡視下腱板修復術器械出し業務に対し映像を用いた指導方法の結果」
看護師 一ノ瀬 浩亨

「肩関節外旋筋力と前鋸筋や僧帽筋中部線維との関連性」
理学療法士 矢野 雅直



副島